

No. 3107

2024-2025年度

会 長 中村 吉伸
幹 事 菅原 佳典
クラブ広報小委員長 川口健太郎



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

令和7年3月13日 第3108回

- ・外部卓話：菅沼 豊氏
(三菱電線工業箕島製作所 副所長)
- ・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第3107回例会）

開催日 令和7年3月6日(木)

点 鐘 [中村会長]

今月の誕生日

[親睦活動小委員会 橋爪(誠)委員]

会員誕生：上野山捷身君(3/1)、木本隆昭君(3/12)

北畑貴行君(3/18)

配偶者誕生：菅原知子さん(3/4)、福田有美さん(3/6)



3月お誕生日

(左) 上野山 捷身君

(右) 木本 隆昭君

おめでとうございます！

ニコニコ箱の報告 [井上SAA]

中村君：宮井さん、川口さん、本日のリレー卓話宜しくお願い致します。三寒四温と言えるかどうか分かりませんが、着実に春に向かっていきますね。紀三井寺の開花予想日は3月24日とのことです。

菅原君：宮井さん、川口さん、卓話宜しくお願いします。楽しみにしています。箕高出身の力士、野田君が幕下に上がりました。嬉しいです。

石垣君：会員リレー卓話、宮井さん、川口君よろしくお願い致します。

上野山(捷)君：本日のリレー卓話、宮井清明様、川口健太郎様、よろしくお願い致します。

橋爪(正)君：宮井君、川口君、本日の卓話楽しみです。

應地君：宮井さん、川口さん卓話を楽しみにしています。

宮井君：川口君本日の卓話よろしくお願いします。私も卓話させていただきます。よろしく。

2024-2025年度クラブ方針

「みんなの力を結集し、
未来に繋がる活動を」

次回のお知らせ

令和7年3月27日 第3109回

- ・外部卓話：「子ども食堂について」
中尾さなえ氏（一社 Smile スミレ会 理事）
- ・ソング：「我等の生業」



松村君：宮井さん、川口さん、お話し楽しみにしています。
中村会長、記念品ありがとうございました。これが欲しいと思っていました。

中元君：宮井さん、川口さん本日の卓話よろしくお願い致します。

橋爪(誠)君：宮井さん、川口さん本日の卓話よろしくお願い致します。中村会長、菅原幹事、先日はありがとうございました。

川口君：本日卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。

木本君：宮井さん、川口さん本日の卓話宜しくお願い致します。

福原君：宮井君、川口君、会員リレー卓話楽しみです。よろしくお願いします。

手島君：宮井さん、川口さん、会員卓話拝聴させていただきます。参考といたします。

井上君：宮井さん、木本さん、本日の卓話よろしくお願い致します。

出席報告

[クラブ管理運営委員会 川口副委員長]

本日の出席者18名/25名

(うち出席規定免除者7名/8名)

会長の時間

[中村会長]

3月は水と衛生月間であります。安全な水を確保することや、衛生設備を整えることは、いまだに予防可能な伝染病が蔓延する国に対して将来を担う子供たちを守り、安心して暮らせる環境と教育を提供します。

本日はWASH(Water・Sanitation and Hygiene 水・衛生設備、衛生習慣)プロジェクトについてお



話致します。WASHプロジェクトは国連関連組織や日本赤十字、NGOなどが行っている世界中の水と衛生問題に対する事業です。ロータリー財団は2013年から世界100か国余りで実施されている1000件以上のプロジェクトに投資していて、浄水、衛生教育、仮設トイレ建設、廃棄物管理などを支援しています。しかしロータリーやその他の奉仕団体がサハラ以南のアフリカに様々な井戸、配管、浄水設備を提供したにも関わらず、機能不全となった費用は12億から15億ドルと巨額になっていると言われており、その原因として給水施設の老朽化への対応、教育の不備が指摘されていました。そこでロータリーは世界最大の政府の援助機関であるUSAID（米国国際開発庁）とタッグを組み、ロータリーとしては資金調達のため世界的ネットワークを使い、ボランティアを集め、施設の建設を進めています。一方USAIDは技術的支援、システム運営と管理を現地の団体に指導・教育するという協力体制のもとで、無駄金を出来るだけ作らないような持続可能なプロジェクトを行っています。このようにロータリーはUSAIDの連携のもと現在ガーナやマダガスカル、ウガンダで事業展開中であり、安全な水と衛生設備を世界のすべての人が利用できる目標年を2030年としています。僅か5年先という限られた設定の上に、トランプ政権がUSAIDの廃止を示唆しており、目標達成はさらに困難となっています。アメリカはロータリーが生まれた国ですので、今一度立ち止まって尊敬できる世界のリーダーに戻っていただきたいと思います。今日は水と衛生月間にちなんでWASHプロジェクトを紹介致しました。

幹事報告

〔菅原幹事〕

1. 国際ロータリー
第3回クラブ・地区支援室メッセージ
 2. 2640地区
 - ・2025-2026年度 RIテーマ
「よいことのために手を取りあおう」
 - ・社会奉仕委員会へのアンケート依頼
木本エレクト、橋爪委員長
 - ・【再々送】
カルガリー国際大会 RI理事主催親善
朝食会の案内
- 【後方掲示・閲覧物】
- ・地区内各クラブ例会変更
 - ・議事録
 - ・財団室NEWS 2025年3月号
 - ・2025年年3月 水と衛生月間
 - ・国際ロータリーカルガリー大会ご案内



卓 話



会員
宮井 清明 君

「私の職業」

我家の職業は清涼飲料水販売業です。

終戦後昭和25年頃、私の父がアイスクリーム、アイスキャンディーの製造販売業を始めました。ついで昭和27年4月頃に清涼飲料水製造卸販売業を開業しました。（皆様方よく御存じのラムネ屋さんです。）住いも工場も宮原町新町でした。当時私は箕島高校2年生でした。

学校から帰ったらカバンを机に置くなり、工場へ仕事を手伝いに行きました。私達の時代は仕事手伝いが先で勉強は後からと云う時代でした。今の子供は学校から帰るとすぐ学習塾とかピアノとか習い事で、夜はテレビを見たりして家の手伝いはあまりしませんね。。

そして商売も1年過ぎ2年目の夏、今年こそはと本格的にやろうと思っていた矢先に皆様方もよく御存じの昭和27年7月18日（7.18水害）の集中豪雨で有田川の氾濫で一瞬にして工場が全壊、機械器具は土砂で埋もれてしまい、一年間復旧工事で休業しました。

そして一年後、工場も操業できる様になりました。商売もまあ〜順調に十四、五年たちました。

高度成長の時代でもあり、大企業もその頃は日本経済も飲料企業に乗り出し、又外国よりコカ・コーラやその他色々な飲料も上陸して来ました。

そして、ビン入飲料水から缶入、ポリ容器入に変わって来た時代でもあり、私達小規模事業者は、大企業の経営戦略と資本力に押され廃業や転業に追いやられるようになりました。

私方もこのままでは廃業しなければならなくなるかもしれないと思いました。ちょうどその頃、或るメーカーから缶入飲料水の卸売をやってくれないかと依頼がありました。

その頃、自動販売機が出初めた時でもあって自販機をお店や事業所等に設置し商品を販売して頂くと云うやり方です。

そこで私方も製造販売をやめて、卸販売業に切替えました。そうすると、メーカーからの仕入がトラクター車単位でした。倉庫も狭いし、交通に便利が悪いと云う事で現在の糸我国道筋に昭和46年に移転し、現在に至っています。

【現況】

商売の代表者は息子になっています。

私も経理の方を少し手伝っています。

【将来の展望】

今の商売も末代続くものではないと思います。今後の時代、経済の変化に依り、商品も販売方法も変化して行きます。そのつど、時代のニーズ合った方法を考えなければなりません。

終りになりましたが、私の家業も息子で3代目です。100年企業達成に頑張してほしいと思います。



会員
川口 健太郎 君

「私の職業と現状・将来への展望」

【現況】

皆さんこんにちは。本日はリレーのバトンが回って参りましたので、与えられたテーマを元にお話させていただきます。

以前の卓話にて会社の概要は、お話をさせていただきましたが改めて時間は進んでおりますので弊社の現況をお伝えさせていただきます。

仕事内容は、地場ゼネコンと言われる建築・土木他建設工事の施工管理を業としています。施工管理とは俗に言う現場監督でその仕事は専門業種をまとめ工程や品質、顧客から設計監理者との協議と多岐に渡り、完成までを導きます。その責務は大きく現場代理人として代表者の代理業務として一つの現場を任せられます。時にニュースなどで見られると思いますが、安全を怠り死傷者を出した場合などは逮捕起訴や書類送検等の罰則を受けるほどの役割です。私たちの会社はその監督業がメインとなります。

現在弊社は社員30名と本社は有田川町、支店は大阪、和歌山市で営業所は紀北・日高・金屋であり田辺市に紀南営業を置いていましたが廃止しました。私自身は皆様にもお世話になりました父の後を受け継がせて頂き今日に至っています。現在の課題は沢山ございます。先ずは人手として新入社員が来てくれない。中途採用もままならない状況と共に、協力業者さんも同じく人手不足と高齢化が止まりません。それに伴い建設資材や人件費の高騰が現在の経済状況に追いついていない。また社員のレベルの格差、受注機会の選択と頭は痛いばかりです。

【展望】

しかしながら希望は無いわけではありません。人手不足はもう10年以上前から気になっていました。その為に数々の取組をさせて頂いています。先ずはこの4月より始まりました働き方改革関連法案による建設業の労働時間上限規制が始まると共に週休2日制を導入で年間休日名目上は120日以上となりました。それまでも健康経営やBCP、SDGs、和歌山県が取組んでいる女性活躍企業同盟・こどもまんなか応援団・企業説明会ブースの設え、各学校への訪問、福利厚生はリゾートホテル会員にベネフィット、誕生日へのプレゼントと何でもやってみる精神が身につきました。私が考える仕事とは、家庭や家族と仕事は一对でどちらかが上手に行くことは無いと実感しています。それと企業理念である「信頼に足る会社であり信頼に足る人間であれ」は人間性が高い、倫理観を持っている集団が三洋建設である事が社業発展への道と捉えています。弊社はあと8年後法人として50年を迎えます。

ただ年月が過ぎるのではなく50年を今創っています。それはまたその時お話し出来ればと思います。
ご清聴ありがとうございました。

閉会・点鐘

〔中村会長〕

例会風景



来週

3月20日は

休会です

